

## 成績評価制度（GPT・GPA制度）について

宇都宮大学では、平成20年度入学生（3年次編入生は除く）から従前の「優」評価を「秀」評価と「優」評価に分割し、秀・優・良・可・不可の「5段階評価」とする成績評価制度及びGPT・GPA制度を導入しています。「秀」は特に優れた成績で、いずれの科目でもごくわずかの学生にしか与えられない評価となっています。

### ・GPT・GPA制度

GPTとは、履修登録した科目の5段階評価（秀・優・良・可・不可）を5から0までの点数（GP: Grade Point）に置き換え、それぞれの単位数を掛けて総和をとった値です。

GPAはGPTを履修登録単位数の合計で割った平均点です。総和または平均をとる期間により、学期、学年、通算の3種類があります。

成績評価制度における成績の評価基準とそれぞれのGPをまとめて次表に示します。ここで、「不可」もGP = 0としてGPAの計算に算入されることに注意してください。

標語	GP	意味
秀	5	特に優れた成績
優	4	優れた成績
良	3	良好な成績
可	2	合格と認められる最低の成績
不可	0	合格と認められない成績
合		大学で認めた評価「合格」
不合		大学で認めた評価「不合格」

### ・GPAの対象となる科目は

原則として、次の1，2以外の授業科目が対象となります。

1. 評点を付さずに「合・不合」等で評価する科目（合否判定科目等）
2. 編入学または転入学した際の単位認定科目、本学入学前に修得した単位認定科目、など。（ただし、秀、優、良、可、不可の評価をつけて単位認定された場合は、通算GPTと通算GPAに算入します。）

### ・GPT・GPA の利用法は

GPT, GPA は、学習の質を示すわかりやすい指標で、学習状況の把握が簡単にできます。

個別成績表には、学期毎のGPT・GPA値や累積GPA値が示されます。自主的、意欲的な履修計画に利用してください。

教員等による修学指導においても、GPT・GPAが利用されます。また、授業料免除・各種奨学金・留学等の支援対象者の選考に利用されることがあります。（学部・学科などが異なればGPT・GPAの平均点が異なるので、学部・学科などを通して順位付けする場合には用いられません。）

#### ・GPT・GPA 制度導入に伴う科目履修上の注意

授業科目の履修を途中で「放棄」した場合には、「不可」の評価、すなわち、GP = 0 となって、GPAの値に反映されます。したがって、科目選択はシラバスの内容をよく確認し、慎重に行わなければなりません。ただし、授業内容が想定していたものと異なっていたり、履修上必要な知識が不足していたりして、履修を取りやめたいときには、聴講届確認期限が終わるまでに聴講届を訂正してください。この場合は、履修放棄とは見なされず、従ってGPAの値には反映されません。聴講届確認期限は、学期開始後約4週目で、正確な期間は、授業時間表1ページにある授業計画等行事予定表を参照してください。

なお、聴講届確認期限を過ぎての履修の変更、取りやめは、次に記す例外を除き、認められません。

#### ・履修中止制度について

聴講届確認期限後においても、病気や特別な事情等で修学が継続できない場合に対応するため、授業科目によって履修中止を認める制度があります。履修中止は、担当部署への申し出により、その授業の担当教員が、やむを得ない事情があると判断した場合に認められます。

#### ・履修不完全

例えば、課題やレポートの提出が何らかの正当な理由で遅れている場合に、教員の教育的配慮により、成績評価（秀，優，良，可，不可）の確定が延期される場合があります。この場合、その科目は履修不完全と呼ばれる状態にあり、成績表には略号で「履不」と表記されます。何らかの理由で履修が不完全な場合、「履不」とするか「不可」とするかは、教員の判断によります。履修不完全となった場合、その次の学期以降に追加的な評価を受けて、成績評価が確定されます。評価が確定すると、履修した学期の評価として、「履不」の表記が書き換えられます。なお、履修不完全となっている間は、その科目のGPは0として計算されます。

#### ・個別成績表、成績証明書の記載内容について

個別成績表には、「履修不完全」となっている科目も含め、全ての学修履歴が記載されます。また、学期ごとのGPT・GPA値、通算GPT・GPA値が示されます。

成績証明書には、通算GPA値の他、合格となった科目のみ記載されます。

※詳細については、各学部履修案内に掲載してある「宇都宮大学におけるGPT・GPA制度の取扱いに関する要項」・「共通教育履修規程」及び「各学部履修規程」を参照してください。